

アイドルのメンバーカラーが与える印象と影響

本研究は、日本のアイドル文化において重要な役割を果たしている「メンバーカラー」に着目し、それがファンおよびアイドル本人のイメージ形成、さらにはファン心理や承認欲求にどのような影響を与えているのかを明らかにすることを目的とした。近年、推し活の広がりとともに、メンバーカラーはライブやグッズ、ファッション、日常生活にまで浸透し、単なる識別記号を超えた文化的・心理的意味をもつようになってきている。

本研究では、まず色彩心理学およびブランドマーケティングにおける色の機能に関する先行研究を整理し、色が感情や性格イメージ、役割期待と結びつくことを確認した。その上で、メンバーカラーがアイドルのキャラクター性を補強し、ファンの認知枠組みを方向づける「ショートカット」として機能している点を論じた。また、戦隊シリーズやプリキュアなどのキャラクターコンテンツとの比較を通じて、色と役割・性格の結びつきが広く共有された文化的コードであることを示した。

さらに、メンズ地下アイドル界限を中心としたファンを対象にアンケート調査を実施し、メンバーカラーに対する意識や印象を分析した。その結果、ファンは表向きにはメンバーカラーを重視しないと回答しつつも、推しの色に一定の統一性を見出し、高い満足度を示していることが明らかとなった。これは、メンバーカラーが無意識的に推しの人格イメージと結びつき、自然に受容されていることを示唆している。また、単語と色の連想調査から、色に対するイメージは多くの人の中で共有されており、先行研究の知見と一致する結果が得られた。

以上より、メンバーカラーはアイドルのキャラクター理解を助けると同時に、ファンにとっては自己表現や承認欲求の可視化、コミュニティ形成を支える重要な媒介であることが明らかとなった。メンバーカラーは、アイドル文化における心理的・社会的意味を担う重要な要素であると結論づけられる。